

☆ハポートレーニング（公的職業訓練）の実際 ～ある訓練生の1日～☆

施設内訓練（ポリテクセンター）編

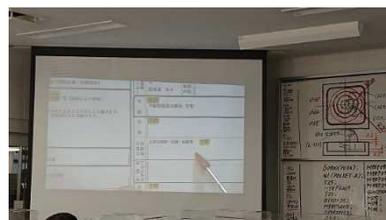
9:05 訓練校に到着



更衣室で実習服に着替え

（CAD・NC加工科）

9:10 チャイムが鳴ると、週番の号令。朝の挨拶と出席確認の後には「安全の三原則」と「服装点検」を指差し確認。授業の前に「今日の求人紹介」2件と企業見学会の案内。求人票の仕事内容と学んだこととの関連や雇用条件・環境などについて詳しく教えてもらえる。



前回作った「蓋」に合う、「器」を作るためのプログラミング。個人作業の後、グループで検討。実習室での加工に備え、何度もシミュレーションを行う。

10:05 休憩（午前中の授業は3コマ。50分ごとに10分の休憩がある）



休憩スペースや屋外の喫煙スペースを利用する人も。

各教室に温湿度計が設置されており、快適な環境が保たれている。気分がすぐれないときは「医務室」を利用することもできる。

11:55 お弁当（選べる味噌汁付き）を買って、ホールで昼食



12:45 午後の授業では、グループで仕上げたデータを持って実習室へ。実習では保護メガネと帽子を装着（危険予知活動は欠かせない）。実際に金属を加工する前に、加工プログラムのチェックや完成品を入れての試行、手触点検、実測等入念な確認とチェックをして、いよいよ本番。



15年近く働いてきましたが、40歳になるまでに「できることを増やしたい」と思って、訓練の受講を決めました。ポリテクセンターの良いところは、

①知りたいことが学べる！…どの先生も「テクノインストラクター」だけあって、知識や技術がすごいです。ベテランの先生や特別講師から職人ならではの知恵や工夫を聞くことが、とても勉強になり、どの授業も楽しいです。

②就職支援が手厚い！…自分の経験と訓練内容を熟知している先生やアドバイザーが就職のサポートをしてくれ、困ったら何でも相談できるところが心強いです。

③いろんな人に出会える！…ここに来なければ会うことはなかった人と出会えたことも良かったです！迷っているなら、学んでみた方がいいです！

15:25 本日の授業は終了。全員で担当エリアを掃除。

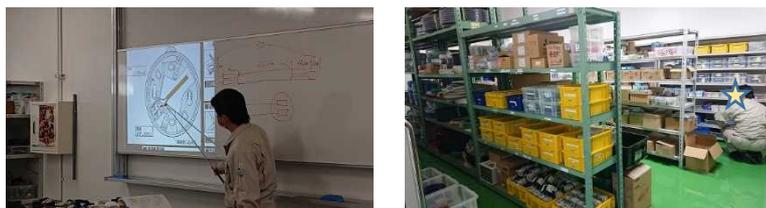


15:30 終礼

授業後の自習もOK。気になる求人は先生に相談し、応募を検討。



電気設備技術科は、午前中が講義、午後は実習中心。たくさんの資材が常備されている。



この火災感知器は「スカイツリーに約 8000 個設置されている」もの。
1 個の値段は「いくらでしょうか？」と現場に役立つ知識が盛りだくさん。



「試験を受ける方は…」等、テキストの大事なところは下線を引く場所を教えてくれる。



10 月生と 1 月生（別の時期に入校した人同士）がペアになって、実習に取り組む。
工具一式は貸し出され、受講者ごとのロッカーへ保管。



以前の職場の元同僚から「訓練良かった」ときいて、興味を持ちました。40 代からは「何かないと厳しい」と思い、これまでのスキルと経験を生かしつつ、新しい分野の仕事ができる「電気設備技術科」を選びました。事前に調べてみたら、「第二種電気工事士」の試験は入校と同じ月に学科試験があったので、入校前から準備を始めましたが、**実技試験の対策は訓練のなかでしっかりできたので**、今は合格通知を待ちながら、応募する求人を選んでいきます。

住宅リフォーム技術科では、実習前にラジオ体操で体と緊張をほぐしてから、実習に入ります。

